

潰瘍性大腸炎に対する緊急手術症例の検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としまして
るので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	潰瘍性大腸炎に対する緊急手術症例の検討
倫理審査受付番号	第3836号
研究期間	2021年 7月倫理審査承認日～2022年12月31日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に炎症性腸疾患外科を受診された、潰瘍性大腸炎の方 2001年 1月 1日～2020年 3月31日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報
研究概要	（研究目的、意義） 潰瘍性大腸炎(以下UC)に対する内科的治療の進歩は著しく2010年以降はインフリキシマブが保険適用となり、その後も多数の生物学的製剤が登場しています。しかし依然として緊急手術症例は多く、近年は高齢者の増加も加わり緊急手術症例の特徴も変化しているのが現状です。今回、2001年前後で緊急手術症例を2群に分けこれらの臨床的特徴を明らかにすることを目的としました。この結果を今後の治療に役立てることができると考えました。

（研究の方法）

2001年1月1日から2020年3月31日までに当科でUCに対し手術を施行した1705例のうち、緊急手術症例391例を対象とします。2009年12月までの163例を前期群、2010年1月以降の228例を後期群として患者背景、術前治療、術式、術後合併症を比較検討します。

（個人情報の取扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

本研究に関する 連絡先	兵庫医科大学病院 炎症性腸疾患外科 池内 浩基（研究責任者） 桑原 隆一（研究担当者） TEL （平日、時間外ともに）0798-45-6372
------------------------	--